

## 2005年度海外研修旅行（イタリア）の報告

横井隆治・野田直克・中山英夫  
土田茂雄・水野敏明

### はじめに

本学における海外研修旅行は、過去にはハワイ、アメリカ、ヨーロッパ等で行われていたが、2000年2月にイタリアの国立フェラーリ専門学校との提携後はイタリア研修旅行を行っている。

本稿では、2005年度に実施された海外研修旅行について、日程及びスケジュール、参加者募集方法、行程としてミラノ、ベローナ、ヴェネツィア、ボローニャでの観光場所や、ドゥカティ社、フェラーリ工場及びフェラーリ専門学校での研修について、また、参加者のアンケート結果について報告する。引率は本学（海外研修旅行委員会委員）5名、学園本部（研修旅行担当）1名、学長の7名であった。

### 研修旅行日程及びスケジュール

月 日	都市名	時間	スケジュール	食事
8/29 (月)	セントレア発 フランクフルト着 フランクフルト発 ミラノ着	10:30 15:35 17:10 18:20	中部国際空港集合、ルフトハンザドイツ航空でフランクフルトを 経由してミラノへ マルペンサ空港到着、専用バスでホテルへ（アタホテル泊）	昼機 夕機 夜○
8/30 (火)	ミラノ滞在	午前 午後	ミラノ市内観光（最後の晚餐鑑賞、ドォーモ広場など） フリータイム（市内散策） （アタホテル泊）	朝○ 昼○ 夕×
8/31 (水)	ミラノ発 ヴェローナ着 ヴェローナ発 ヴェネツィア着	午前 午後	朝食後、専用バスでヴェローナへ ヴェローナ市内観光（ロミオの家、ジュリエットの家、エルベ広 場など） 昼食後、専用バスでヴェネツィアへ （ラゲーナ泊）	朝○ 昼○ 夕○
9/1 (木)	ヴェネツィア滞在	午前 午後	ヴェネツィア市内観光（ドゥカーレ宮殿、サンマルコ寺院、リア トル橋、溜息の陸橋、サンマルコ広場、ゴンドラ乗船など） フリータイム（市内散策） （ラゲーナ泊）	朝○ 昼○ 夕×

9/2 (金)	ヴェネツィア発 ボローニャ着 ボローニャ発 マラネロ着	早朝 午前 13:30 午後	専用バスでボローニャへ ドゥカティ社工場見学 専用バスでマラネロへ フェラーリ工場食堂で昼食 フェラーリ専門学校訪問, 博物館見学, フリータイム (ドムス泊)	朝○  昼○ 夕○
9/3 (土)	マラネロ発 ボローニャ着	午前 午後	フェラーリ工場見学 専用バスでボローニャへ (スターホテル泊)	朝○ 昼○ 夕○
9/4 (日)	ボローニャ発 フランクフルト着 フランクフルト発	10:50 12:25 13:55	専用バスで空港へ ボローニャ空港からルフトハンザドイツ航空でフランクフルト経 由で帰国の途	朝○ 昼機 夕機
9/5 (月)	セントレア着	8:15	中部国際空港着, 解散	

### 参加者募集

過去には、保護者への連絡及び理解を深めるために、3月下旬に新入生及び新2年生宛に案内を郵送していた。しかし、今年、4月1日に海外研修旅行委員会委員が発表され、なおかつ全員が新委員となった為、募集開始が遅れた。前述の日程及びスケジュールは、学園本部担当の蜂須賀先生が1月より、過去の経緯を勘案し立案され、イタリアの各部署との調整を行い、4月1日には大よそ確定していた内容である。これをもとに、4月6日の入学式終了後、新入生及びその保護者に対しイタリア研修旅行の案内及び資料の配布を行った。以降、全学生への海外研修旅行に対する意識調査アンケートの実施、説明会案内のチラシ配布、学内に説明会ポスターの貼付等の作業を行った。

4月20日・28日、5月11日に説明会を行い、仮の受付を行った。この時点で32名の仮申し込みがあった。5月19日・25日、6月6日・13日・20日、7月8日にかけて説明会及び正式申し込み、パスポートの申請方法の説明会を随時おこなった。仮申し込みからのキャンセルがあり、正式な申込及び、申込金の入金数が27名であった。募集人数40名対し、かなり少ない人数しか集まらなかった。

その後も募集を続けつつ、7月11日、25日に参加者説明会を行い、本学作成のガイドブックの配布及び最終案内を行った。その後2名の追加申し込みがあり、研修旅行最終参加者は、1年生23名、2年生3名、専攻科生3名の29名となった。

### 行 程

8月29日、中部国際空港3階国際線出発ロビーに8時30分集合し、団長の挨拶により研修旅行は始まった。中部国際空港を10:30に出発し、フランクフルトを経由し、現地時間18:20ミラノ

マルペンサ空港に到着した。日本との時差は7時間のため、約15時間の行程であった。到着後専用バスにより宿泊ホテルに向かい、ホテルロビーにて現地日本人通訳兼ガイドの鈴木さんと合流し、以後帰国の途に着くまで同行された。

8月30日は午前中、市内観光を行い、ドゥーモの大聖堂、ピットリオ・エマヌエーレ二世アーケード(写真1)、スカラ座等の見学及び



写真1

サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会の「最後の晩餐」を鑑賞した。午後からはフリータイムで、学生は配布された市内地図や、各自準備した観光案内をもとにグループにわかれ市内探索をした。

8月31日は、専用バスで次の目的地であるヴェローナに移動し、午前中は市内観光を行った。城壁に囲まれたこの町では、ロミオの家、ジュリエットの家、エルベ広場等の見学を行い昼食後、専用バスで次の宿泊地であるヴェネツィアに向った。

9月1日は、専用バスとチャーター船によりヴェネツィア本島に移動し、午前中に観光を行った。ドゥカーレ宮殿、サンマルコ寺院、リアトル橋、溜息の陸橋、ガラス細工工房の見学及び運河を遊覧するゴンドラに乗船した(写真2)。午後はフリータイムで市内散策やガラス細工の買い物などをし、夕食も各自で済ませ19:00に集合しチャーター船とバスを乗り継ぎホテルに戻った。

9月2日は、早めに朝食を済ませ、7:15に専用バスでボローニャに向けて出発した。11時頃二輪車メーカーのドゥカティ社に到着、工場見学と併設されている博物館を見学した。工場では3グループに分かれ、それぞれにガイドと通訳が付き、製造から完成までの行程や、輸出国の法規



写真2



写真3



写真4

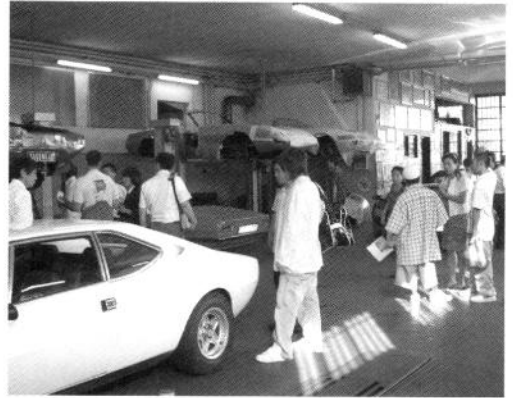


写真5

制の違いによる装備の相違など丁寧な説明がされた。又博物館では創設時のラジオの部品製造から二輪車製造に移行し、更にレースに使用されたバイクが年度ごとに並べられ変化を間近に感じ取ることができた。見学後フェラーリ工場のあるマラネロへ向かった。13：30頃到着し、フェラーリ工場の食堂で遅めの昼食をとった。午後、フェラーリ専門学校を訪問し、学内実習施設及び教材の見学及び動力実験装置での研修を受けた。その後、イタリア短期留学でお世話になっている、ザナシー（フェラーリ専門の整備工場）とトニーオート（整備工場）（写真5）を見学した。フェラーリ博物館に移動し見学及び少しのフリータイムを取った。フェラーリ博物館近辺には、フェラーリ・グッズの販売店が幾つかあり、学生は沢山の土産を購入していた。

9月3日、朝食後、いよいよ最終目的地であるフェラーリ工場に向かい、受付でカメラ、カメラ付携帯を預け見学をした。ここでも3グループに分かれ、それぞれにガイド及び通訳が付きキメ細かな説明を受けた。工場自体は休日であったが、製作中の車が沢山並んでいて製作過程がよくわかった。新型のF430スパイダーが沢山並んでおり、学生は興奮した様子で、隅々まで見学していたのが印象的であった。また、日本車の生産ラインとは随分違う印象を受けた。工場見学の予定時間をオーバーしたがスタッフの丁寧な説明を受け、充実した研修を受けることができた。その後、昼食を済ませ専用バスによりボローニャに移動した。夕方、ボローニャ市内のサン・ペトロニオ聖堂などの観光を行った。

9月4日、朝食後専用バスによりボローニャ空港に向かい、10：50出発フランクフルト経由、日本時間8：15に中部国際空港に到着した。団長の挨拶の後解散し、各自家路についた。病気や怪我も無く、なんらトラブルも無く、天気にも恵まれた研修旅行であった。